

まちのうごき

(7月1日現在)	(6月中)	
世帯数 17,341世帯	生まれた人 48人	
人口 53,063人	亡くなった人 18人	
男 26,050人	転入した人 185人	
女 27,013人	転出した人 253人	



市民に親しまれている桜の径

歴史の道

古くは、平安のころ、はるか遠い土佐の国からようやくこの地に着いた紀貫之が歩いた道。幕末のころ、坂本竜馬、中岡慎太郎など多くの志士が行き交った道。西国街道は、古くから交通の要衝として栄え、日本の歴史を見詰めてきました。上植野町下川原地域は、今も、この古い西国街道の面影を残しています。「歴史の道」は、この街並みを保存し、都市的環境とも調和した、いにしへのロマンをただよぶ道筋として整備するものです。

歴史の道 完成予想写真 (カラーフォトモンタージュで作成)



西国街道の面影が残る 上植野町下川原地域(現況)



「道路はみんなの財産です。広く、美しく、安全に」をテーマに、8月1日〜31日、道路をまもる月間が展開されます。道路は、単に通行のためだけの道路ではなく、行き交う人々に語りかけ、愛される道路であってほしいものです。—そんな向日市の道を紹介します。

桜の径

向日市の噴水公園を中心とする住宅街は、桜の並木が広がる静かなたたずまいとして多くの人々に親しまれています。「桜の径」は、向日地域の街並み景観を生かした個性ある街づくりを目的に「桜の径保全整備事業」として取り組んだものです。道路は、落ち着いたグリーン。歩道は、特殊な樹脂舗装をして、淡い桜色の自然石を使っています。桜は、従来からあった180本に加え、165本を新しく植樹しました。

90 向日市まつり

11月17日(土)・18日(日)
向日町競輪場一帯



向日市まつり実行委員会(委員長・清水利一助)は、11月17日(土)・18日(日)の両日、向日町民参加コーナー「屋外ステーション」に向日市商工会館で開か競輪場一帯で開催することを決定しました。「5万人のふれあい」をテーマに「おまつりひろば」を主催する清水孝清氏が選ばれました。

開催決定

道造り つぎの世代へ かける橋

8月1日〜31日 道路をまもる月間

8月3日(金) 小雨決行
午後6時〜8時
阪急東向日駅前

市長と語ろう

たそがれ市民相談

あなたの声を市政に反映



お問い合わせ 秘書広報課 内線251



道路をまもる月間は、交通安全施設などの点検と整備を進め、道路の正しい利用と道路を愛護する思想を普及して、道路を広く、美しく、安全に使うことができるようにしていくことが目的です。

■合同道路パトロール
8月1日(水)午前10時から、向日町警察署、京都府乙訓土木事務所など関係機関と合同で実施します。道路を不法に占用している広告物・商品などの点検や、道路工事・占用道路に散乱している空き缶などを回収します。

■道路清掃
8月22日(水)午前9時から、向日市民憲章推進協議会の皆さんも参加して、歩きやすくなったと評判の道路に散乱している空き缶を回収します。

■放置自転車指導
8月8日(水)午前9時から、駅前周辺で、放置自転車の指導を行い、自転車の利用者に、駐輪場への駐車を呼びかけます。

■お問い合せ
土木課 内線263・264

■明るく歩きました
8月22日(水)午前9時から、向日市憲章推進協議会の皆さんも参加して、歩きやすくなったと評判の道路に散乱している空き缶を回収します。

■歩道の改修工事
歩道の改修工事は、壁面を白く塗装するとともに、光量の大きい照明灯を歩道の天上に取り付けたものです。さらに、防護さくは、鋼鉄製と一部にステンレス製を使用して、美観と安全の確保に努めました。

■番田地下道
番田地下道は、JR東海道線で分かれている市の東西を結ぶ道路の一つとして重要な役割を担っています。このほかの地下道も順次改修を計画しています。

市民とのコミュニケーションを進めていくこと、一人ひとりの生の声を聞かせること、よりよいまちづくりに生かすこと、市政に意見や要望を伝えることが、望ましいです。



明るく歩きやすくなった番田地下道